

# 旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
芸術	音楽 I	2	1	選	全コース
科目の目標	音楽 I は、音楽体験を通して様々な音楽に親しみ、豊かな感性や想像力、生涯に渡り音楽文化を愛好する心情を養う。また、これまでの音楽体験や経験をもとに、さらに幅広い音楽ジャンルに触れることで日常生活に溢れている音楽文化に触れ、専門知識も養う。				
教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)	副教材等	Music Navigation (教育出版) (音楽史・楽典・ノート)		

## 1. 学習の到達目標

音楽の幅広い活動やジャンルを学び、音楽的な見方・考え方を働かせ、日常生活や社会のなかの音や音楽、文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。音楽の構成や文化的・歴史的背景などとの関わり及び多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。また、自己のイメージを持って音楽表現をし、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。そして、主体的に幅広い音楽の活動に取り組み、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものしていく態度を養う。

## 2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
楽典① (音符、音名)	2	4	基本的な楽典内容を理解する	○		
鑑賞 (音楽史)	6	5.6	西洋音楽史に沿って、各時代の代表的な音楽を鑑賞する。また、様々な音楽ジャンル (宗教曲、クラシック、オペラ、近現代など) に触れる	○	○	
器楽 (リコーダー)	6	6.7	身近な曲を使い、ソプラノ・アルトリコーダーどちらも演奏できるようにする。のちに、アンサンブルとして複数人で演奏する。(グループ活動)	○	○	○
楽典② (音階、創作活動)	4	8	楽典①で学んだことを復習し、音階を使い個人でオリジナルの作曲活動を行う。	○		
歌唱	4	8.9	楽典②で作曲した楽譜を歌えるようになる。	○		○
器楽 (カップス)	8	10	楽典①②で学んだことをいかし、プラスチックコップを使ったグループリズム創作を行う。	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
鑑賞（世界の民族音楽）	4	11	器楽（カブス）の続きで、打楽器演奏はじめ世界の様々な民族音楽に触れる。日本の特徴を捉えながら世界の音楽との比較をする。	○	○	○
鑑賞（世界の様々な歌）・歌唱	4	11. 12	世界の民族音楽の続きで、世界の様々な歌にも視野を広げ、ドイツ歌曲、イタリア曲などに触れる。有名な曲を実際に歌ったりなど日本歌曲との比較をする。	○	○	○
鑑賞（日本の伝統音楽）・歌唱	6	1	世界の民族音楽、歌唱を紹介した上、改めて日本の伝統音楽、日本歌曲に触れる。また、リズムを取り上げて演奏したり、日本歌曲に触れる。	○	○	○
器楽（クラシックギター、ハンドベル、ドレミパイプ）	6	2.3	それぞれの楽器全体的に触れて、基本的な演奏方法を習得し、器楽合奏として各楽器に分かれて演奏できるようになる。	○	○	○